

# 記恩ヶ丘ホームページのお話

記恩ヶ丘ホームページは、みなさんのご協力により、毎日、200人近くの間窓生が訪れるWebサイトになりましたが、このホームページが出来たまでの経緯についてお話したいと思います。（2021年11月6日 高25期 廣瀬隆夫）

今から20年以上前、インターネットが今のように普及していない時代に、朋友会では、他校に先駆けてホームページを立ち上げようという機運が高まりました。（現在の朋友会のホームページと区別するために、以下、最初に作られた朋友会のホームページは、同窓会ホームページと呼ぶこととします）

2000（平成12）年7月にホームページ開設準備委員会による事前調査が進められ、翌年7月6日にホームページ委員会が発足しました。初代ホームページ委員長に高9期の里見さんが就任して、2001年の9月1日に同窓会ホームページが開設されました。

当時のホームページ委員会のメンバーにはプログラミングの専門家はいなく、少ない文献を読みながら手探りでホームページを作成しました。開設当初は、試行錯誤の繰り返りで、立ち上げるには大変な努力が必要でした。パソコンが普及していなかったので紙に書かれた記事を、事務局が一旦受け取って、委員会のメンバーが文字を打ち込んでホームページに掲載するというサービスも行っていました。

当時は、ホームページを持っている同窓会は少なく先進的な試みでした。朋友会は、若い人たちに同窓会に興味を持ってもらうための重要なツールとしてホームページを位置付けていました。その後、委員長が小野関さん、杉原さん、和田さんへと引き継がれて同窓会ホームページは自分たちの手で運営されてきました。（小野関さん、杉原さん、は故人）

ホームページには掲示板があり、誰でも自由にメッセージを書き込むことができました。私も母校の同窓会のホームページが出来たのが嬉しくて、掲示板に書き込みを行なっていました。現在は、この掲示板は閉鎖されています。

・・・・・・＜朋友会ホームページ掲示板（抜粋）＞・・・・・・

**1:里見絢子さんの訪問日:2001年9月1日（土）16時57分**

朋友会ホームページ委員長の里見です。この度、ホームページを開設いたしました。皆様のご利用とご意見をお待ちしています。

**15:廣瀬隆夫さんの訪問日:2001年9月22日（土）23時42分**

高25期の廣瀬と申します。ホームページ開設おめでとうございます。このような新しい交流の場が出来たことは非常に喜ばしいことです。糸井重里氏が提唱しているインターネット憲章をお贈りします。

1.つながっていること（リンク）

2.情報が共有できること（シェア）

3.壁がないこと（フラット）

4.開かれていること（グローバル）

今後とも、このホームページがますます発展されることを祈念いたします。

.....

私は、高校を卒業して長い年月が経っていましたが、2016年の9月に娘の文化祭で久しぶりで横須賀高校に行った時に校史資料室で珍しい写真を目にしました。昭和30年代の横須賀高校の航空写真でした。

校史資料室で説明をされていた先輩に、写真を見ながら校庭に相撲の土俵があったという話や木造校舎の建設の話や、当時の学生気質などのお話を興味深くお聞きしました。この写真は昭和34年4月～35年3月に撮られたもので、本館第一棟（A棟）の工事は1期と2期に分れ校舎右側に2期の足場が残っていることから35年3月28日の竣工式前のものだと教えていただきました。この年から、順次、鉄筋コンクリート造りの新校舎の建築が始まったそうです。

昭和35年竣工間近の横須賀高校本館



こういうエピソードをホームページで公開したらおもしろいですね、という話の中で、私が地域の団体のWebサイトを作っているというお話をさせていただいたところ、興味を持っていただきメールアドレスの交換をさせていただきました。その時、写真の説明をさせていただいた方が朋友会の会報を担当されていた上田さんでした。

数日後、上田さんからホームページ委員会へ出席のお誘いを受け、2016年11月の例会に参加しました。ホームページ委員会は、横須賀高校のプールの近くの第2会議室で行われていました。委員会は隔月の土曜日に行われており、メンバーは、委員長の和田さんを中心に、石渡さん、佐藤さん、饗場さん、上田さんでした。上田さんは会報委員会ですが、ホー

ムページへ会報の記事を掲載するなどの連携をするために出席していました。毎回、2時間にもわたる熱の入った議論が行われていました。

このような会議が、通算100回以上も行われていたことを後になって知りました。また、ホームページ委員会は、運用していくための詳細な資料を準備していました。

.....

- **HP00000** 「ホームページ委員会総則」
- **HP00001** 「情報掲載依頼の処理」
- **HP00002** 「ようこそ先輩」インタビューガイド
- **HP00004** 「同窓生ニュース掲載基準」
- **HP00005** 「Office宛メール」取扱基準
- **HP00006** 「同窓会ニュース」運用基準
- **HP00007** 「朋友会掲示板」運用基準
- **HP00009** 「経費処理基準」
- **HP00010** 「経費精算票」
- **HP00012** 「リンクページ」運用基準

.....

その後、和田さんや佐藤さんにホームページの仕組みを教えていただき、少しずつ中身を理解していきました。ホームページは、HTML (Hyper Text Markup Language) というプログラム言語で書かれており難解なものでした。スタッフ用のページと本番用のページに分かれていて、厳密な校正を通らないと公開できない仕組みになっていました。16年前に、このホームページを最初に作ったスタッフの設計思想は素晴らしいと思いました。

厳密に設計されたホームページということもあり、同窓会ホームページのコンテンツの更新は、かなり労力と注意力を必要とする時間のかかる作業でした。

現在は閲覧することはできなくなっていますが、同窓会ホームページをご存知ない方のために、以前の朋友会のホームページにどんなコンテンツが掲載されていたかをご紹介します。

ホームページ委員会が作った朋友会のサイト



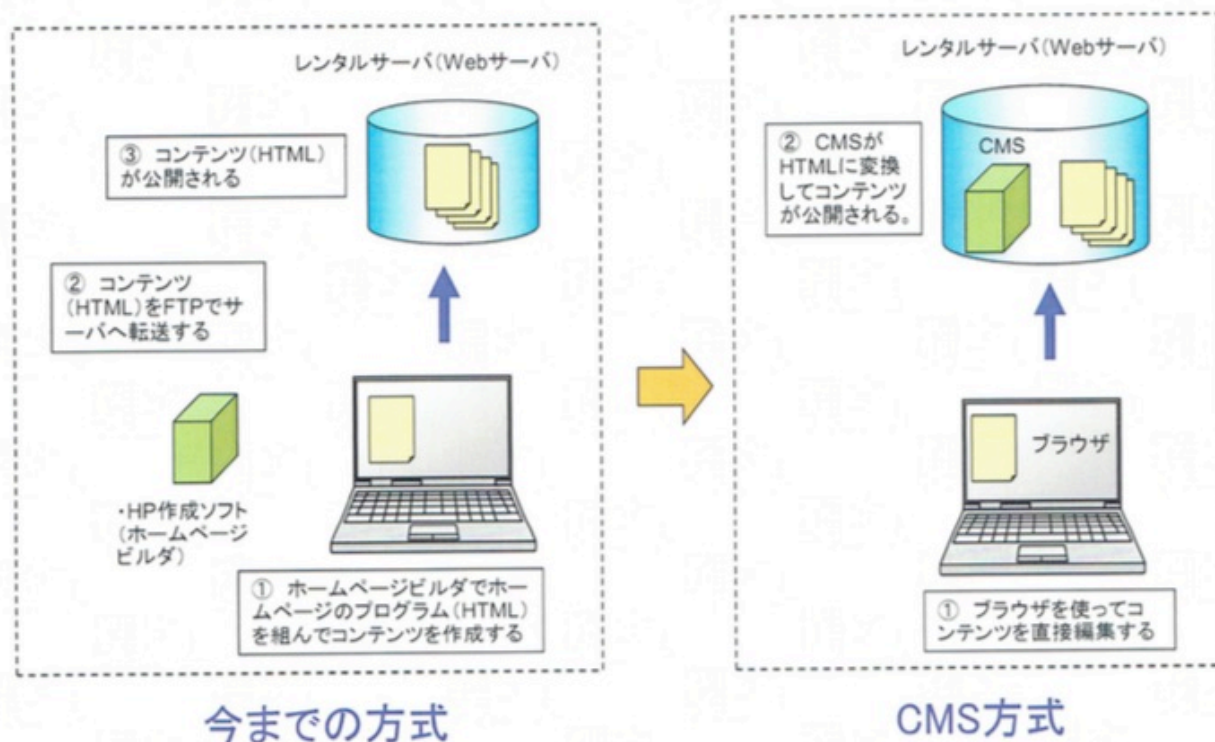
.....

- 「ようこそ同窓生」 卒業生をホームページ委員会がインタビューして書き起こした記事
- 「恩師短信」 恩師についての消息、教職員の異動
- 「記恩ヶ丘ポスト」 同窓生が書いたエッセイや報告書などの投稿
- 「横高の草花」 横須賀高校の庭い咲いている草花の写真
- 「朋友会あれこれ」 校章の由来や報本反始の話、記恩ヶ丘や吉田庫三先生の話
- 「朋友会掲示板」 誰でも書き込める掲示板
- 「同窓会開催状況一覧」 横須賀中学、横須賀高校の卒業期ごとに分類した一覧
- 「同窓生ニュース」 卒業生が褒賞を受賞されたり、重職につかれたりした同窓生の情報
- 「私は何期？」 卒業期と卒業年の対照表
- 「100周年記念ページ」 2008年の横須賀高校創立100周年記念事業の経緯や講演会の報告

.....

私は、ホームページの更新作業を任されるようになりました。作業を行っていくうちに、この手間のかかる更新作業を改善できないかと思うようになりました。当時のホームペー

ジは、専門的なHTMLというプログラム言語で作って、FTPという通信ソフトでサーバに写真や文章を送るという方法をとっていました。特別な知識を持たなくてもコンテンツの更新ができるCMS（Contents Management System シーエムエス）というツールが開発されていましたので、それを導入してホームページを根本的に作り変えたらどうかと考えました。



2017年の1月の例会でホームページ委員会のメンバーにホームページの再構築の構想を説明して、3月には費用や運用方法を提案しました。同窓会ホームページの立ち上げ当初から技術担当として活動されてきた佐藤さんや委員長の和田さんと技術的な検討をした結果、この方法で行けるのではないかという結論に達しました。外部の業者に作成を依頼することも考えましたが、ムダなコストをかけずに自分たちで勉強して新しいホームページを作ることにしました。

新しいツールを導入してホームページを再構築するために、専門書を何冊か読み基礎知識を習得しました。朋友会で使用しているレンタルサーバ上に、代表的なCMSであるWordPress（ワードプレス）というソフトを佐藤さんが、2017年の4月26日にインストールしました。それから、同窓会ホームページの作成、コンテンツの移行という作業が始まりました。5月の連休を返上して異例の速さで作業が進み、5月8日には「ようこそ同窓生」などのコンテンツを含めた移行がほぼ完了し、5月28日の朋友会の総会に新しいホームページを間に合わせることができました。しかし、私たちが作ったホームページは採用されずに、ホームページ委員会は解散となりました。

2017（平成29）年の7月9日に横須賀中央のモアーズシティの「つきじ植むら 旬泉坊」で朋友会の旧ホームページ委員会のメンバーが集まって解散会が行われました。旬泉坊は、2000（平成12）年7月にホームページ開設準備委員会ができた時に発足式を行った思い出の場所でした。

ノウハウを持ったホームページ委員会がこのまま解散してしまうのは惜しい、今までの活動を継承して同窓生のために何かお役に立ちたいという話で盛り上がりました。そこで、旧ホームページ委員会のメンバーの手で、同窓生のためのホームページを、もう一度立ち上げようということになりました。解散式が急遽、新しいホームページの発足式になりました。



ホームページの名前は、横高生であれば誰でも知っている「記念ヶ丘」にするということが全員一致で決まりました。ロゴには、先輩方に敬意を評して第四中学校、横須賀中学校、横須賀高校の3つの校章を入れようということになりました。会の正式名称は、初代ホームページ委員長の里見さんの発案で「記念ヶ丘の会」となり、代表は旧ホームページ委員長であった高17期の和田さんが就任しました。朋友会のホームページ作成で長年、蓄積してきた技術を記念ヶ丘ホームページに活かすことができるようになりました。



# 記念ヶ丘

## Kiongaoka Society



恩師からのエッセイやクラス会の開催報告、高校時代の思い出や三浦半島の美しい野鳥などの写真を、多くの同窓生から投稿していただきました。おかげさまで、たくさんの同窓生にご覧いただき、公開してから1年足らずの2018年9月の時点で、すでに5万8千アクセスを越えるまでになりました。平均して一日、100件を超えるアクセスがあります。2021年の時点では、平均400件を超えるアクセス数になっています。



**記念ヶ丘**  
Kiongaoka Society

▶ ホーム ▶ 記念ヶ丘へようこそ ▶ イベント広場 ▶ 記念ヶ丘通信 ▶ 記念ヶ丘資料室 ▶ 花鳥風月写真館

▶ お問い合わせと記事投稿/リンク

▶ 桜高の卒業のモデル「葛葉」

※記念ヶ丘HPに掲載できるエッセイなどがありましたらお寄せください。(スタッフ)

**小川先生の特別授業 第10回「身近な事件(事象)と科学II」**

小川先生の特別講義の参加しました。10分の休憩をはさんで、2時間半にわたり難しい物理や化学のお話を分かりやすく説明していただきました。私たちは、63歳、64歳ですが、93歳になられた小川先生から見ると、まだまだ青二才です。定年退職して第二の人生を歩んでいる方が多いと思いますが、老け込んではいられない、これから

管理者ログイン

◆サイト内の検索

検索

◆みなさまへのお願い

横須賀高校創立  
110th Anniversary

新しい試みとして海外にお住まいの同窓生の方にも情報をお届けするために、毎月、「記恩ヶ丘メールニュース」を発行して同窓生の方にお送りしています。

朋友会の初期のホームページのDNAを受け継いだ記恩ヶ丘ホームページの代表的なコンテンツは次の通りです。

.....

- フォトリポート【美しい野鳥たち】【四季の草花】
- 研究レポート【記恩ヶ丘研究】
- エッセイ【記恩ヶ丘エッセイ】【記恩ヶ丘よもやま話】
- ぶらり散歩【ぶらり散歩】【京急大好き!】【記恩ヶ丘探検隊】
- がんばれ同窓生【ガンバレ同窓生】【記恩ヶ丘の著名人】
- 恩師短信【教職員の異動】
- クラス会、同期会、横高の行事の報告【クラス会・同窓会】【横高の行事】
- 動画の投稿【記恩ヶ丘チャンネル】
- 私は何期?【卒業期と卒業年の対照表】

.....

写真やイラストを多用して、文章はできるだけ分かりやすく、文字数制限は設けないという方針で、自由に開かれた、ちょっと知的でためになる楽しいサイトを目指しています。これからも同窓生のみなさんのご協力をお願いいたします。

掲載する写真や文章は、同窓生のどなたからでも受け付けております。

⇒ <https://kiongaoka.sakura.ne.jp/blog/toiawase/>

記恩ヶ丘の会の活動にご賛同していただきスタッフとして活動していただける方はお申し出ください。

### 【記恩ヶ丘の会】

記恩ヶ丘は、横須賀高校のグラウンドに登る途中の坂道に面した丘陵地で、横須賀高校の同窓生なら誰でも知っている親しみのある場所です。この地名にちなみ、「記恩ヶ丘の会」と命名しました。

英国には、18世紀にエラズマス・ダーウィンらが設立したルナー・ソサエティというものがありません。詩人、発明家、医師、作家、物理学者などが電灯のない時代に、月夜の晩に集まって議論する場でした。蒸気機関を発明して産業革命の礎を作ったジェームズ・ワットや、アメリカ独立の立役者のベンジャミン・フランクリンなどもメンバーでした。



横須賀中学・横須賀高校の同窓生は様々な分野でグローバルに活躍しています。「記恩ヶ丘の会」の志は高く、このルナー・ソサエティのように同窓生たちの自由闊達な情報共有の場になることを願っています。

このホームページは、主に横須賀高校を卒業したシニアを中心とした有志により運営されています。初代校長吉田庫三先生のお精神である「自主自律」に則って活動しています。

### 【記恩ヶ丘の会のこころざし】

ふと、夜中に目を覚まして

古い友や恩師のことを思い出して話してみたくなることはありませんか？  
しばらく会っていない同窓生は何をしているかなと、思うことはありませんか？

たった3年間とは言え、記恩ヶ丘で多感な学生時代を過ごした  
2万人を超える仲間がいます。

学校の先生、お医者さん、研究者、建築家、経営者、歴史家、エンジニア、翻訳家、  
小説家、ピアニスト、オペラ歌手、アナウンサー、俳優、落語家、コンサルタント、  
政治家、大学教授、弁護士、芸能人、スポーツ選手、芸術家などなど。

先頭を走る人、ゆっくり歩く人、せっかちな人、気のいい人、のんきな人、おもしろい人、  
若い後輩から大先輩まで、周りには様々な分野にユニークな卒業生がたくさんいます。  
みんな、それぞれの道を一生けん命に歩んでいます。

でも、一人で出来ることは限られています。

みんなが集まれば、もっと、おもしろいことが出来るはずです。

熱い想いを語りあったり、ささいな出来事に一喜一憂したり、  
美しいものに感動したり、不思議なことに驚愕しあったり。

同じ想いを持った仲間の輪を広げて、もっと人生を楽しもうではありませんか。

たくさんの仲間が、もう一度この記恩ヶ丘に集まり、  
縦と横の糸を織り込んで、一枚の美しい絨毯を創るように、  
世界のどこにもない楽しい交流の場を、みんなで作っていきたい。

これが私たちのこころざしです。

.....

記恩ヶ丘に立つと

机を並べて学んだ校舎の窓が見える

上を見上げると汗を流したグラウンドが見える

記恩ヶ丘はいつでも

みんなを暖かく迎え入れてくれます。